

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル初回投与時の GCSF 製剤投与頻度
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	横井 那哉
研究期間	2024年9月～2025年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2024年9月5日）
対象者	2020年1月より2024年6月までの4年間に当院で去勢抵抗性前立腺癌に対して化学療法としてドセタキセルを初回投与された患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセルは化学療法としてよく投与されますが、血球減少の副作用が問題となります。そのため初回投与時にはどの程度副作用がでるのか入院し投与することが多いです。同じ種類のカバジタキセル(ジェブタナ®など)という薬は血球減少の頻度がより多いとされるため、初回投与から血球を増やす薬(GCSF 製剤)の予防的投与が保険で認められています。ですがドセタキセルは初回投与では認められておらず、一定数の患者さんが血球減少による発熱などをきたすことがあります。今回の研究の目的は当院でドセタキセルを初めて投与された患者さんの中でその後 GCSF 製剤が投与されたか、投与されていない患者さんと比較してどういう背景があるとリスクになるのかを検証し、今後投与された患者さんの血球減少による合併症のリスクを下げられないかを検討することです。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢など）・臨床データ（画像検査結果、病理検査結果など）・転帰（発熱性好中球減少症が起きたか）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記のとおりお問い合わせ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。

問合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院　泌尿器科　横井那哉 代表 054-247-6111</p>
------	---